



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月9日

上場会社名 アクセルマーク株式会社
 コード番号 3624 URL <http://www.axelmark.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部ゼネラルマネージャー (氏名) 朝居 宏文 TEL 03-5354-3351
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	625	△17.8	△17	—	△17	—	△33	—
27年9月期第1四半期	761	△12.2	△30	—	△33	—	△51	—

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 △33百万円 (—%) 27年9月期第1四半期 △51百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	△7.57	—
27年9月期第1四半期	△11.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	1,793	1,479	79.3
27年9月期	1,894	1,503	76.8

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 1,422百万円 27年9月期 1,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期第2四半期（累計）の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,217	△27.1	△145	—	△146	—	△147	—	△33.63

通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期1Q	4,370,900株	27年9月期	4,370,900株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	33株	27年9月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期1Q	4,370,867株	27年9月期1Q	4,370,867株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境は引き続きスマートフォンの高機能化と通信環境の快適化が進み、スマートフォン利用者の増加傾向が続いております。その急速な普及スピードと高機能化に合わせるようにスマートフォン向け新サービスが次々と創出され、市場の拡大と、それにとまなう競争の激化が続いています。

このような市場環境の下、当社は「次代を担う新たなコアサービスの創出」を当連結会計年度の事業戦略に掲げて取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高625,474千円（前年同期比17.8%減）、営業損失17,524千円（前年同期は30,481千円の営業損失）、経常損失17,884千円（前年同期は33,114千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失33,077千円（前年同期は51,985千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次の通りであります。

(モバイルゲーム事業)

モバイルゲーム事業につきましては、今後リリース予定のネイティブゲームアプリの開発及びプロモーション体制の構築のためのリソースの集中を行うことを目的として、平成27年12月に「王様ゲーム -共闘-」「王国の系譜～クリスタルサーガ～」2タイトルのサービスを終了し、平成28年1月のサービス終了に向けて平成27年11月に「大乱闘!!ドラゴンパレード」の課金機能の停止をいたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は257,271千円（前年同期比24.8%減）、セグメント利益は24,576千円（前年同期は2,525千円のセグメント損失）となりました。

(広告事業)

広告事業につきましては、主力であるスマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の大口顧客依存からの脱却と「BRAND SCREEN」の当第3四半期連結会計期間以降の本格的な拡販に向けた体制構築に注力いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は286,402千円（前年同期比7.7%減）、セグメント利益は2,816千円（前年同期比85.4%減）となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業につきましては、キャリアプラットフォームを対象としたサービス売上に関して漸減傾向が続く中で今後の新たな売上獲得を目指したスマートフォン向けサービスの開発に注力いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は81,800千円（前年同期比24.8%減）、セグメント利益は11,104千円（前年同期比355.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、仕掛品が12,534千円、有形固定資産が43,562千円、投資その他の資産が58,059千円増加したものの、現金及び預金が193,721千円、売掛金が57,430千円、のれんが12,498千円減少したこと等により前期末に比べて100,688千円減少し、1,793,684千円となりました。

負債については、買掛金が18,593千円、短期借入金が20,000千円、未払法人税等が17,153千円、賞与引当金が19,587千円減少したこと等により前期末に比べて76,620千円減少し、313,776千円となりました。

純資産については、非支配株主持分が8,602千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失33,077千円の計上等により前期末に比べて24,068千円減少し、1,479,908千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高に関してはモバイルゲーム事業において、第1四半期連結会計期間中に2タイトルのサービスを終了すると共に1タイトルの課金機能の停止を行ったこと、「キングダム-英雄の系譜-」が次の施策に向けた準備期間に入ること、広告事業において、第1四半期連結会計期間に引き続いて「ADroute」の大口顧客依存からの脱却を進めていること、「BRAND SCREEN」の本格的な売上高への寄与を第3四半期連結会計期間以降にみていること等を要因として、第1四半期連結会計期間に比べて減少すると見込んでおります。

また、費用に関してはモバイルゲーム事業で平成27年2月4日にβテストの始まった「ワールドクロスサガ-時と少女と鏡の扉-」に関する外注費やプロモーション費用の発生、広告事業の「BRAND SCREEN」拡販に向けた人員増強等を要因に第1四半期連結会計期間と比べて大きく増加すると見込んでおり、結果として第1四半期連結会計期間と比べて第2四半期連結会計期間は利益項目の赤字幅が拡大すると見込んでおります。

なお、「ワールドクロスサガ-時と少女と鏡の扉-」に関しては今春のサービス開始を目指して進めておりますが、本業績予想においては、売上高の計上を見込んでおりません。

平成28年9月期の業績予想につきましては、当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想を算出することが困難なため、四半期毎に翌四半期の業績予想を公表させていただきます。

平成28年9月期第2四半期連結累計期間業績予想(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

売上高	1,217百万円(前年同期比27.1%減)
営業利益	△145百万円(前年同期は22百万円の営業損失)
経常利益	△146百万円(前年同期は26百万円の経常損失)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△147百万円(前年同期は49百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,241,556	1,047,835
売掛金	391,976	334,546
仕掛品	1,654	14,189
貯蔵品	927	1,483
その他	71,513	119,860
流動資産合計	1,707,628	1,517,915
固定資産		
有形固定資産	8,459	52,021
無形固定資産		
のれん	88,257	75,759
その他	746	646
無形固定資産合計	89,004	76,406
投資その他の資産	89,281	147,341
固定資産合計	186,744	275,769
資産合計	1,894,373	1,793,684
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,452	142,858
短期借入金	40,000	20,000
未払法人税等	34,093	16,939
賞与引当金	36,564	16,977
ポイント引当金	8,448	8,057
その他	109,838	108,942
流動負債合計	390,397	313,776
負債合計	390,397	313,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,117,172
利益剰余金	△225,901	△258,979
自己株式	△25	△25
株主資本合計	1,454,743	1,422,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	5
その他の包括利益累計額合計	—	5
新株予約権	286	286
非支配株主持分	48,946	57,548
純資産合計	1,503,976	1,479,908
負債純資産合計	1,894,373	1,793,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	761,098	625,474
売上原価	509,398	390,316
売上総利益	251,700	235,157
販売費及び一般管理費	282,181	252,681
営業損失(△)	△30,481	△17,524
営業外収益		
受取利息	297	135
事業譲渡益	—	830
受取手数料	—	300
その他	42	121
営業外収益合計	340	1,386
営業外費用		
支払利息	—	38
株式上場関連費用	1,293	1,508
支払手数料	1,500	—
その他	179	200
営業外費用合計	2,973	1,747
経常損失(△)	△33,114	△17,884
特別損失		
訴訟和解金	17,000	—
特別損失合計	17,000	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,114	△17,884
法人税、住民税及び事業税	1,871	15,563
法人税等合計	1,871	15,563
四半期純損失(△)	△51,985	△33,448
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△370
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△51,985	△33,077

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△51,985	△33,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	5
その他の包括利益合計	—	5
四半期包括利益	△51,985	△33,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,985	△33,072
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△370

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	341,971	310,264	108,813	761,050	48	761,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	341,971	310,264	108,813	761,050	48	761,098
セグメント利益又は損失 (△)	△2,525	19,346	2,436	19,257	△49,739	△30,481

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	19,257
のれんの償却額	△15,129
全社費用(注)	△34,609
四半期連結損益計算書の営業損失	△30,481

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	257,271	286,402	81,800	625,474	—	625,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	257,271	286,402	81,800	625,474	—	625,474
セグメント利益	24,576	2,816	11,104	38,497	△56,021	△17,524

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	38,497
全社費用（注）	△56,021
四半期連結損益計算書の営業損失	△17,524

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。